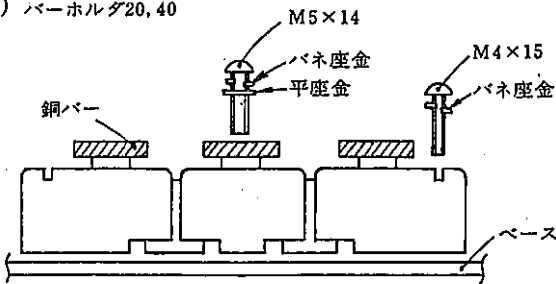
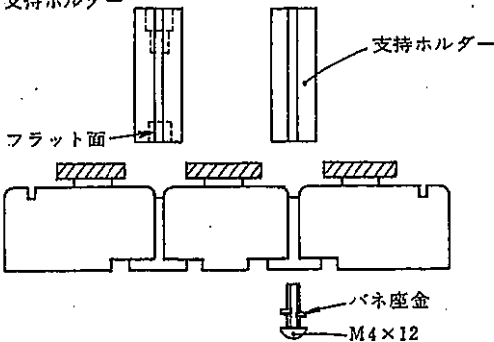


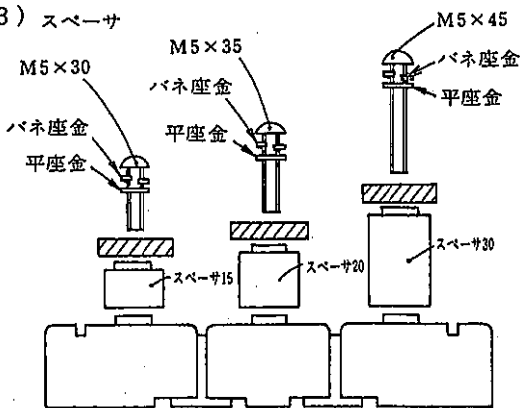
(図1) バーホルダ20, 40



(図2) 支持ホルダー

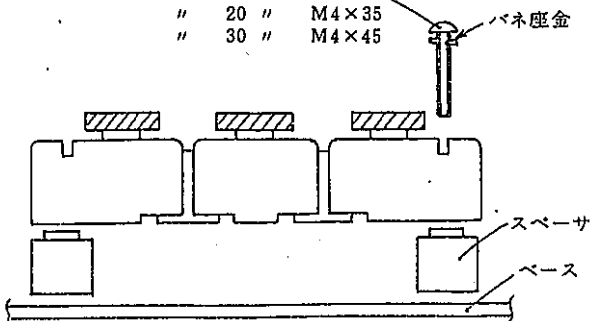


(図3) スペーサ



(図4)

スペーサ15の時、M4×28
 " 20 " M4×35
 " 30 " M4×45



■ バーホルダーの選定について

●銅バーの巾によって選定してください。

種類	付属部品	備考
バーホルダ20	ナベ小ネジ 4×15 平座金	※ 200A用20mm巾以下の銅バー
	" 5×14 バネ座金	
" 40	" "	※ 400A用30mm巾
支持ホルダー	ナベ小ネジ 4×12 バネ座金	セパレータ、絶縁カバーの固定
スペーサ15	ナベ小ネジ 4×28 平座金	高さ調整用
	" 5×30 バネ座金	
" 20	" 4×35 "	"
	" 5×35 "	
" 30	" 4×45 "	"
	" 5×45 "	

※印は参考値です。

■ バーホルダ20, 40の取り付けについて (図1参照)

- バーホルダ20, 40(本体)の取り付けは、ベースにM4のタップを施した後、付属のネジで締め付けて下さい。
- 銅バーの取り付けは、銅バーに穴加工を施し、付属のネジで締め付けて下さい。

■ 支持ホルダーの取り付けについて (図2参照)

- 支持ホルダーの取り付けは、インサートナット打ち込み面のフラット側を下にして、バーホルダ20, 40(本体)の溝にはめ込み、下から付属のネジで締め付けて下さい。
- (注) 支持ホルダーの使用例は裏面参照。

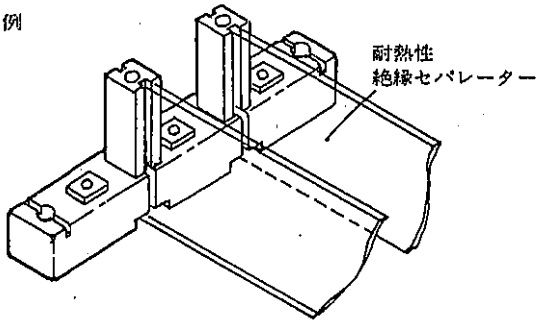
■ スペーサの取り付けについて (図3, 4参照)

- それぞれのスペーサを銅バー側に使用される時は、銅バーに穴加工を施し、付属のネジで締め付けて下さい。

- スペーサをバーホルダ(本体)の下側に使用し、高さ調整用として取り付ける時は、ベースにM4のタップ穴を施した後、付属のネジで締め付けて下さい。

(注) スペーサの使用例は裏面参照。

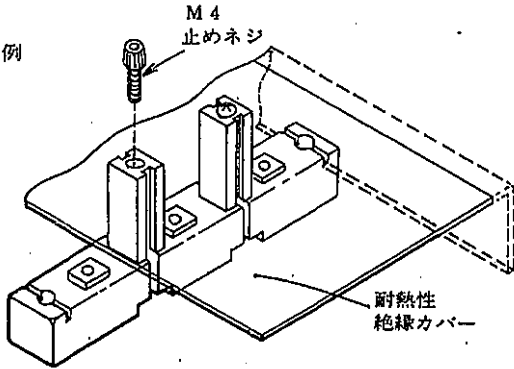
(図5)
使用例



■ 支持ホルダーの利用方法 (図5, 6参照)

- セパレーターを取り付ける時は、支持ホルダー及びバーホルダー(本体)の溝にさし込み取り付けてください。
- セパレーターは、耐熱性で t 2.0mmまでの樹脂性を御使用下さい。

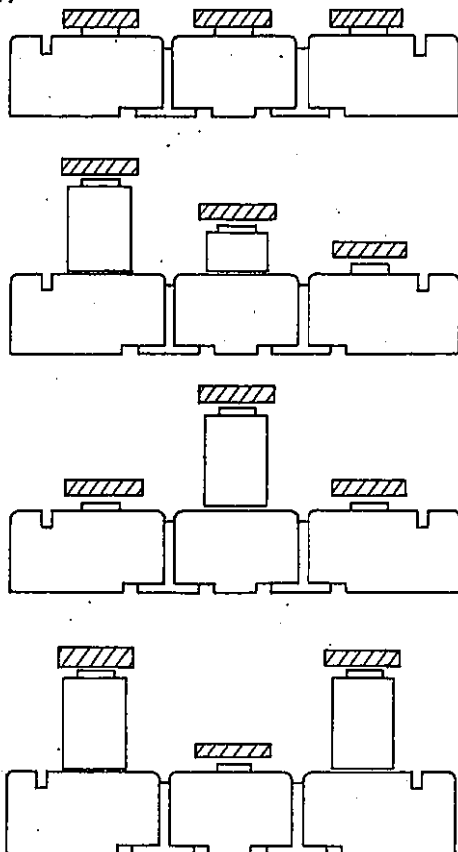
(図6)
使用例



- 絶縁カバーを取り付ける時は、絶縁カバーに取付穴(支持ホルダーの取付穴ピッチ)を施した後、図6のように止めネジで、締め付けて下さい。又L曲げした絶縁カバーの側面を固定する時は、バーホルダー20, 40(本体)の溝に差し込むことにより固定出来ます。
- (注) M4 止めネジは付属ではありません。

- 絶縁カバーは、耐熱性で t 2.0mmの樹脂性を御使用下さい。

(図7)
使用例



■ スペースの利用方法

- スペースの組み合わせにより図7のように、種類の異なったバーホルダ形状が出来ます。

(注) 銅バー取付ネジについて

t 2.3~ t 8 mmまでの銅バーの厚さを考慮して取付けネジを付属していますので、それ以外のネジを使用される時は、ネジの長さ等を確認の上御使用下さい。